

物質番号	物質名	CAS No.
23	フェノブカルブ (BPMC)	3766-81-2

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₁₂ H ₁₇ NO ₂		
	分子量(式量)	207.27		
	常温での状態	無色の結晶		
	融点	31.5℃		
	沸点	112.5℃		
	水溶解度	420 mg/L(20℃)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	農薬(殺虫剤)		
	製造・輸入量	100t/年 未満 (化審法届出(平成20年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物)		

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
24	イプロベンホス(IBP)	26087-47-8

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₁₃ H ₂₁ O ₃ PS		
	分子量(式量)	288.35		
	常温での状態	黄淡色の液体		
	融点	< 25℃		
	沸点	126℃		
	水溶解度	400 mg/L(20℃)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	農薬(殺菌剤)		
	製造・輸入量	68t/年 (農薬推計値(平成 20 年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他			-	

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
25	クロルニトロフェン(CNP)	1836-77-7

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₁₂ H ₆ Cl ₃ NO ₃		
	分子量(式量)	318.55		
	常温での状態	白色の固体		
	融点	105.5 °C		
	沸点	-		
	水溶解度	0.764 mg/L(22°C)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	除草剤(販売禁止農薬)		
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	-	-
		皮膚腐食性/刺激性	-	-
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	-	-
		生殖細胞変異原性	-	-
		発がん性	-	-
		生殖毒性	-	-
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	-	-
		水生環境有害性(慢性毒性)	-	-
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
26	エピクロロヒドリン	106-89-8

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₃ H ₅ ClO		
	分子量(式量)	92.53		
	常温での状態	クロロホルムに似た刺激臭がある無色の液体		
	融点	-57.2℃		
	沸点	116.11℃		
	水溶解度	65.9g/L(25℃)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	エポキシ樹脂、合成グリセリン、グリシジルメタクリレート、界面活性剤、イオン交換樹脂などの原料、他		
	製造・輸入量	10万～100万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分3	飲み込むと有毒
		皮膚腐食性/刺激性	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分1	重篤な眼の損傷
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	区分1	発がんのおそれ
		生殖毒性	区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分3	水生生物に有害
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物) GHS分類対象物質リスト(環境リスク「高」) 水道水質基準(要検討項目)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
27	キシレン	1330-20-7

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₈ H ₁₀		
	分子量(式量)	106.17		
	常温での状態	3種の異性体およびエチルベンゼンの混合物であって混合キシレンと呼ばれる無色の液体。		
	融点	-54℃		
	沸点	138.5℃		
	水溶解度	106 mg/L (25℃)、実測値		
	その他	水に不溶、アルコールおよびエーテルには易溶		
取扱状況	主な用途	(合成原料として)染料、有機顔料、功労、可塑剤、他、(溶剤として)塗料、農薬、医薬品など一般溶剤、石油精製溶剤、他		
	製造・輸入量	100万～1000万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分5	飲み込むと有害のおそれ
		皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分2	水生生物に毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分2	長期的影響により水生生物に毒性
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 事故事例が確認された物質(水質事故)	
	事故の報告事例	例1	工場内のパイプラインに穴が開き、キシレン(原体)80リットルが漏洩した。(うち70リットルは回収された。)当該パイプラインが、管理帳簿上は使用していないことになっていたため、腐食が進行していたのかかわらず補修が行われず破損してしまったため。被害報告はない。	
		例2	油水分離槽にオルトキシレンを受け入れていたところ、自動抜水バルブが手動で開になっていたため、自動抜水バルブからオルトキシレン約4m ³ が漏洩した。被害は特になし。	
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物) 悪臭防止法(特定悪臭物質) 水道水質基準(要検討項目)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
28	モリブデン及びその化合物	—

項目		データ等		
性状等	化学式			
	分子量(式量)			
	常温での状態			
	融点			
	沸点			
	水溶解度			
	その他			
取扱状況	主な用途			
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	-	-
		皮膚腐食性/刺激性	-	-
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	-	-
		生殖細胞変異原性	-	-
		発がん性	-	-
		生殖毒性	-	-
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	-	-
		水生環境有害性(慢性毒性)	-	-
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目		
	事故の報告	例1		
	事例	例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		GHS分類対象物質リスト(環境リスク「高」) 水道水質基準(要検討項目)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
28 参考資料	モリブデン(物質群「モリブデン及びその化合物」の個別物質の例)	7439-98-7

項目		データ等		
性状等	化学式	Mo		
	分子量(式量)	95.94		
	常温での状態	銀白色の固体		
	融点	2622℃		
	沸点	4639℃		
	水溶解度	76.6g/L(25℃)、推定値		
	その他			
取扱状況	主な用途	特殊鋼(高速度鋼、耐熱鋼、その他)、真空管、耐熱材料、抵抗体、触媒、他		
	製造・輸入量	2000t/年(化学商品(2007年;金属モリブデン 1172t、輸入 784t(粉)))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖細胞変異原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		発がん性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		水生環境有害性(慢性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		水道水質基準(要検討項目)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
329	1,2-ジクロロプロパン	78-87-5

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₃ H ₆ Cl ₂		
	分子量(式量)	112.99		
	常温での状態	無色の液体		
	融点	-100℃		
	沸点	95.5℃		
	水溶解度	2.8g/L(25℃)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	樹脂の溶剤, 有機合成薬品原料		
	製造・輸入量	2700t/年 (化審法届出(平成 20 年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
		生殖毒性	区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分3	水生生物に有害
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分3	長期的影響により水生生物に有害
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目	
	事故の報告	例1		
	事例	例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
30	p-ジクロロベンゼン	106-46-7

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₆ H ₄ Cl ₂		
	分子量(式量)	147		
	常温での状態	常温で昇華する白色の固体		
	融点	52.09℃		
	沸点	174℃		
	水溶解度	81.3 mg/L(25℃)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	染料中間物、殺虫剤、有機合成、調剤、防臭剤、農薬		
	製造・輸入量	3.9 万 t/年 (化審法届出(平成 20 年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分5	飲み込むと有害のおそれ
		皮膚腐食性/刺激性	区分3	軽度の皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
		生殖毒性	区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目	
	事故の報告	例1		
	事例	例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
31	ホルムアルデヒド	50-00-0

項目		データ等		
性状等	化学式	CH ₂ O		
	分子量(式量)	30.03		
	常温での状態	水溶液は無色透明で、窒息性の刺激臭がある		
	融点	-92℃		
	沸点	-19.5℃		
	水溶解度	400g/L(20℃)、実測値		
	その他	水とエーテルに可溶		
取扱状況	主な用途	石炭酸系・尿素系・メラミン系合成樹脂原料、ポリアセタール樹脂原料、界面活性剤など		
	製造・輸入量	10万～100万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	区分1	発がんのおそれ
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分2	水生生物に毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質基準項目)事故事例が確認された物質(水質事故)	
	事故の報告事例	例1	毒物劇物製造施設で、ホルマリンをタンクから別の容器へ移したところ、ホルマリン溶液20～30Lがオーバーフローして防液堤内に漏洩した。計量装置の作動不良による。被害報告はない	
		例2	標本の入ったホルムアルデヒド水溶液の水槽にヒビが入り、ホルムアルデヒド水溶液が揮発、飛散。健康被害なし。施設は2日間閉鎖。	
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物) GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」) 要調査項目		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
32	塩素酸及びその塩類	—

項目		データ等		
性状等	化学式			
	分子量(式量)			
	常温での状態			
	融点			
	沸点			
	水溶解度			
	その他			
取扱状況	主な用途			
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	-	-
		皮膚腐食性/刺激性	-	-
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	-	-
		生殖細胞変異原性	-	-
		発がん性	-	-
		生殖毒性	-	-
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	-	-
		水生環境有害性(慢性毒性)	-	-
選定条件の該当状況	法規制等		水道水質基準(水質基準項目) 事故事例が確認された物質(水質事故)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見			塩素酸ナトリウム等は残留塩素の原因物質であるため留意する必要がある。	
その他			専門家判断で必要性が指摘された物質 毒物及び劇物取締法(劇物)	

備考	塩素酸ナトリウムが残留塩素の原因物質として指摘された。
----	-----------------------------

物質番号	物質名	CAS No.
32 参考資料	塩素酸ナトリウム(物質群「塩素酸及びその塩類」の個別物質の例)	7775-09-9

項目		データ等		
性状等	化学式	NaClO ₃		
	分子量(式量)	106.44		
	常温での状態	無色柱状結晶		
	融点	248℃		
	沸点	-		
	水溶解度	100g/L(25℃)、実測値		
	その他	熱すれば300℃で分解し始め酸素を発生する。可燃性物質とともに粉砕することは危険		
取扱状況	主な用途	雑草の除草剤、分析用試薬、酸化剤、パルプ漂白用二酸化塩素の原料、他		
	製造・輸入量	10万～100万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖細胞変異原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		発がん性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条件の該当状況	法規制等	水道水質基準(水質基準項目)		
	事故の報告事例	例1	塩素酸ナトリウムをドラム缶で希釈中、水道の蛇口からホースが外れ、ホースから逆流し排水溝から河川に流れた。ホースの接続不良による。水道の取水を一時停止した。	
		例2	-	
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
32 参考資料	塩素酸カリウム(物質群「塩素酸及びその塩類」の個別物質の例)	3811-04-9

項目		データ等		
性状等	化学式	KClO ₃		
	分子量(式量)	122.55		
	常温での状態	無色の菱形状結晶(単斜系結晶)または粒、粉		
	融点	368℃		
	沸点	-		
	水溶解度	70g/L(25℃)、実測値		
	その他	強力な酸化剤で可燃性物質と爆発性混合物を形成する		
取扱状況	主な用途	爆薬、マッチ、煙火、分析用試薬、印刷インキ、染料、酸素発生用、酸化剤、殺虫剤、他		
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分3	軽度の皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		発がん性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分3	水生生物に有害
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分3	長期的影響により水生生物に有害
選定条件の該当状況	法規制等	-		
	事故の報告事例	例1		
	事例	例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
33	臭素酸及びその塩類	—

項目		データ等		
性状等	化学式			
	分子量(式量)			
	常温での状態			
	融点			
	沸点			
	水溶解度			
	その他			
取扱状況	主な用途			
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	-	-
		皮膚腐食性/刺激性	-	-
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	-	-
		生殖細胞変異原性	-	-
		発がん性	-	-
		生殖毒性	-	-
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	-	-
		水生環境有害性(慢性毒性)	-	-
選定条件の該当状況	法規制等	水道水質基準(水質基準項目)		
	事故の報告	例1		
	事例	例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	前駆物質として「臭化物」の指定の必要性が指摘された。
----	----------------------------

物質番号	物質名	CAS No.
33 参考資料	臭素酸ナトリウム(物質群「臭素酸及びその塩類」の個別物質の例)	7789-38-0

項目		データ等		
性状等	化学式	NaBrO ₃		
	分子量(式量)	150.89		
	常温での状態	無色または白色結晶		
	融点	381℃		
	沸点	-		
	水溶解度	364g/L(20℃)、実測値		
	その他	水に易溶、アルコールに不溶		
取扱状況	主な用途	分析用試薬、毛髪のコールドウェーブ用薬品		
	製造・輸入量	100～1000t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
		生殖毒性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		水生環境有害性(慢性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
選定条件の該当状況	法規制等	水道水質基準(水質基準項目)		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
33 参考資料	臭素酸カリウム(物質群「臭素酸及びその塩類」の個別物質の例)	7758-01-2

項目		データ等		
性状等	化学式	KBrO ₃		
	分子量(式量)	167		
	常温での状態	白色の結晶ないし結晶性粉末		
	融点	350℃		
	沸点	-		
	水溶解度	69g/L(20℃)、実測値		
	その他	水に溶け、アルコールに不溶		
取扱状況	主な用途	小麦粉改良剤		
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分3	軽度の皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		水生環境有害性(慢性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
選定条件の該当状況	法規制等	-		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
34	アルミニウム及びその化合物	—

項目		データ等		
性状等	化学式			
	分子量(式量)			
	常温での状態			
	融点			
	沸点			
	水溶解度			
	その他			
取扱状況	主な用途			
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	-	-
		皮膚腐食性/刺激性	-	-
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	-	-
		生殖細胞変異原性	-	-
		発がん性	-	-
		生殖毒性	-	-
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	-	-
		水生環境有害性(慢性毒性)	-	-
選定条件の該当状況	法規制等		水道水質基準(水質基準項目) 水道水質基準(水質管理目標設定項目) 事故事例が確認された物質(水質事故)	
	事故の報告事例	例1	皮膜処理工程ラインのアルカリ回収装置の埋設配管が腐食し、水酸化ナトリウム6.8%を含有したアルミン酸ソーダが7m ³ 漏洩した。公共用水域への流出量は0.5m ³ と推定される。被害報告はない。	
		例2	-	
作業委員会における専門家の意見				
その他			毒物及び劇物取締法(毒物) GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」) 要調査項目	

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
34 参考資料	塩化アルミニウム (物質群「アルミニウム及びその化合物」の個別物質の例)	7446-70-0

項目		データ等		
性状等	化学式	AlCl ₃		
	分子量(式量)	133.34		
	常温での状態	純粋なものは無色、通常は黄色または灰白色の固体、六方晶系		
	融点	加圧下における融点 190℃		
	沸点	-		
	水溶解度	-		
	その他	水と激しく反応して多量の熱を発生する		
取扱状況	主な用途	(無水物)石油精製用(クラッキング触媒)、有機合成(フリーデルクラフト反応触媒)、スチレンモノマー用エチルベンゼン製造用触媒、農薬、医薬品、香料、その他		
	製造・輸入量	10万～100万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分1	重篤な眼の損傷
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性	区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等		水道水質基準(水質基準項目) 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」) 要調査項目		

備考	
----	--